

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
3びきのこぶた	小	グループ学習 高学年うみがめ (国語)	
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みたてやつもり活動を経験し、言葉や動作をイメージする力を育む。 ・絵本などの読み聞かせを通して、言葉や場面の面白さを味わう。 ・絵本に出てくる名詞や動詞を知り、お話の世界をより楽しめるようにする。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1 はじまりのあいさつ	・指文字をしたり、はじまりのあいさつを言ったりする。	◎全体を通して、少し頑張れば自分でできたと思える	
2 みんないるかな？	・自分の名前を書いて、みんなに知らせる。	る課題設定を行う。	
3 身体を使って覚えよう 「ちょっとだけたいそう」	・歌の歌詞（ことば）に合わせて動きをする。	・注目してほしい言葉を強調した歌詞カードを準備する。	
4 えほんであそぼう 「3びきのこぶた」	・紙芝居「3びきのこぶた」を見聞きする。 ・絵本の登場人物の台詞や動きを真似る。 ・紙芝居に出てくるイラストと葉を合わせて、絵本に出てくる名詞や動詞を知る。	・お話に歌を入れ、楽しい雰囲気ですテンポよく見聞きできるようにする。 ・絵本の中に繰り返しのある台詞を入れ、児童が自分から言ってみたいと思える雰囲気をつくる。	
5 やってみよう ・絵本に出てくる言葉を知ろう ・作ってみよう	・3びきのこぶたの家を作る。 わら→シュレッダーの紙を枠内に貼る。木→家の形にアイス棒を並べて貼る。レンガ→レンガに見立	・見本を見て、自分考えながら制作できるように材料は扱いやすいように整理しておく。	

<p>6 描いてみよう</p>	<p>てた長方形の紙を並べてレンガの家をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3びきのこぶたを描く。 	<ul style="list-style-type: none"> • 1学期の学習を生かしてできるだけ「○△□」で描けるような見本を準備しておく。
<p>7 おわりのあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お手玉を操作しながら、おわりのあいさつをする。 	

<内容（工夫点など）>

- 読み聞かせは、注目してほしい言葉を強調した。
- 読み聞かせには歌や言葉を動作化して表現する時間を取り入れた。
- 紙芝居にして、イラストを話に合わせて動かせるようにした。
- お話の世界観を大切に、作る活動の材料を準備した。
- わら・木・れんがの実物に触れる機会を設定した。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 紙芝居に注目し続けることが難しい児童も多かったが、読み聞かせに歌や言葉の動作化を取り入れたことで楽しい雰囲気を作ることができ、紙芝居に注目して見続けることのできる児童が増えた。
- 絵本にでてくる言葉を覚えたことで、よりストーリーを楽しんで言葉遊びをする児童がいた。
- 1学期からの取組を続けることで、イメージをもって3びきのこぶたの世界を描いたり家を作ったりして表現することができた。

